

ニオイが気になる「堆肥」の2つのエコ効果！

～皆様の食卓へおいしい農作物を届けるために～



その臭いのせいで嫌われがちな堆肥ですが、この堆肥は皆様へおいしい農作物を提供する上で欠かせないことに加え、環境保全に及ぼす2つの効果で、実は「すごくエコ」な取り組みであるということをご紹介します。

－ 1つ目の効果－

それは堆肥散布により土壌が肥えることで、化学肥料の使用を減少させることが可能となる「環境への負担を軽減する効果」です。さらに化学肥料の過剰使用による地下水汚染を未然に防いだり、枯渇が心配されている肥料原料の1つであるリン鉱石といった地球資源の保護等といった波及効果にも期待ができます。

－ 2つ目の効果－

「地域資源を循環し無駄を少なくする効果」。家畜の糞尿や食物残さ物は、そのままの状態ですと産業廃棄物として扱われてしまう厄介者ですが、これを堆肥にすることで有益な地域資源として生まれかわります。産業廃棄物が有益な地域資源に替わるのですから、その効果は絶大と言えます。

農業者の堆肥にかける思い

このように良い事づくしの堆肥なのですが、農業の現場では普及が進んでいないのが現状です。なぜなら、堆肥づくりとその散布には、多くの労力、長い年月、高額な専用機械等が必要となり、その労力や費用などを考えた場合、化学肥料を購入して散布する方が農業経営にとっては効率的、かつ合理的であるからです。

こうした大変な手間と費用をかけてまで、堆肥を利用している農業者の後ろ姿には「おいしい農作物を皆様の食卓へ届けたい」、「安平町の自然環境を守りたい」といった、「命を支える食べ物への思い」や「自然への畏敬の念」を垣間見ることができます。

ニオイを軽減する工夫

また、食料自給力の向上や環境問題に対する国民の関心が高まる中で、町内の多くの農業者は「エコファーマー」という認定を受け、環境保全型農業に向けた取り組みを積極的に行っています。

そのエコファーマー認定制度の1つの要件になっている堆肥の散布作業に当たっては、関係機関等の指導の下、運搬時の飛散を防ぐために低速運転したり、散布後の臭いを軽減するために速やかに耕起作業を行ったりと周辺環境に配慮した取り組みに努めています。

皆様へのお願い

刻一刻と雪どけが進むにつれ顔をのぞかせる大地は、春の到来を予感させ、その大地の目覚めは農作業シーズンの始まりを告げています。

この季節になりますと堆肥の散布作業が本格化し、風向きによっては堆肥のニオイが住宅街に漂う場合などもあります。そんな時は「堆肥の2つのエコ効果」を思い出していただきながら、町民皆様の堆肥に対するご理解をより一層深めて頂ければ幸いです。

エコファーマーとは？

- ①土づくり！②化学肥料の使用を慣行の2割低減！
- ③化学農薬の使用を慣行の3割低減！の3つに組み合わせ、環境保全型農業への技術を導入する5年間の計画を立て、知事の認定を受けた農業者のこと

4月10日執行北海道知事選挙の開票結果について

4月10日に実施されました北海道知事選挙における安平町での投票率は63.97%と、平成19年に実施した同選挙よりも8.61%下回る結果となりました。

なお、男女別の投票率及び安平町開票区における開票結果は次のとおりです。

	投票状況				投票率	
	有権者数	期日前投票者	選挙当日投票者	投票者数	今回投票率	前回投票率
男	3,620人	339人	1,946人	2,285人	63.12%	72.14%
女	3,766人	272人	2,168人	2,440人	64.79%	73.02%
計	7,386人	611人	4,114人	4,725人	63.97%	72.58%

北海道知事選挙 安平町開票区開票結果		
かつや	忠	86票
宮内	さとし	297票
高橋	はるみ	3,262票
木村	としあき	1,010票
無効投票		70票